



## 令和4年度 「全国学力・学習状況調査」 高鍋町の結果について

本調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象とした教科に関する調査（小学校～国語、算数及び理科 中学校～国語、数学及び理科）と児童生徒質問紙調査です。今回の調査によって測定できることは、学校における教育活動の一部ではありますが、結果を真摯に受け止め、今後の指導に活かしていくことが大切であると考えています。

高鍋町教育委員会といたしましては、この結果を分析し、児童生徒の学力や生活習慣の向上に向け、取組の重点を定め、各学校の実態に応じて支援を行ってまいりたいと考えています。

また、子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせません。今後とも各学校へのご理解とご協力をお願いいたします。

### 1 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の概要について

#### ○ 実施日

令和4年4月19日（火）

#### ○ 対象

小学校第6学年（176名）及び中学校第3学年（143名）

#### ○ 目的

- ・ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・ 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### ○ 内容

(1) 教科に関する調査（小学校～国語、算数及び理科 中学校～国語、数学及び理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 質問紙調査（児童生徒・学校）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 2 結果の表記について

各教科や児童生徒質問紙等の結果については、以下を基準として表記しています。

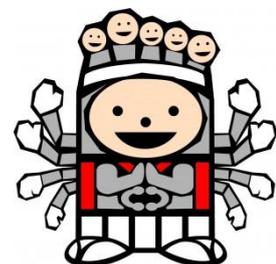
**同程度**・・・・・・・・国平均との差が±1未満

**ほぼ同程度**・・・・・・・・国平均との差が±1～3未満

**やや高い（低い）**・・国平均との差が±3～5未満

**高い（低い）**・・・・・・・・国平均との差が±5～7未満

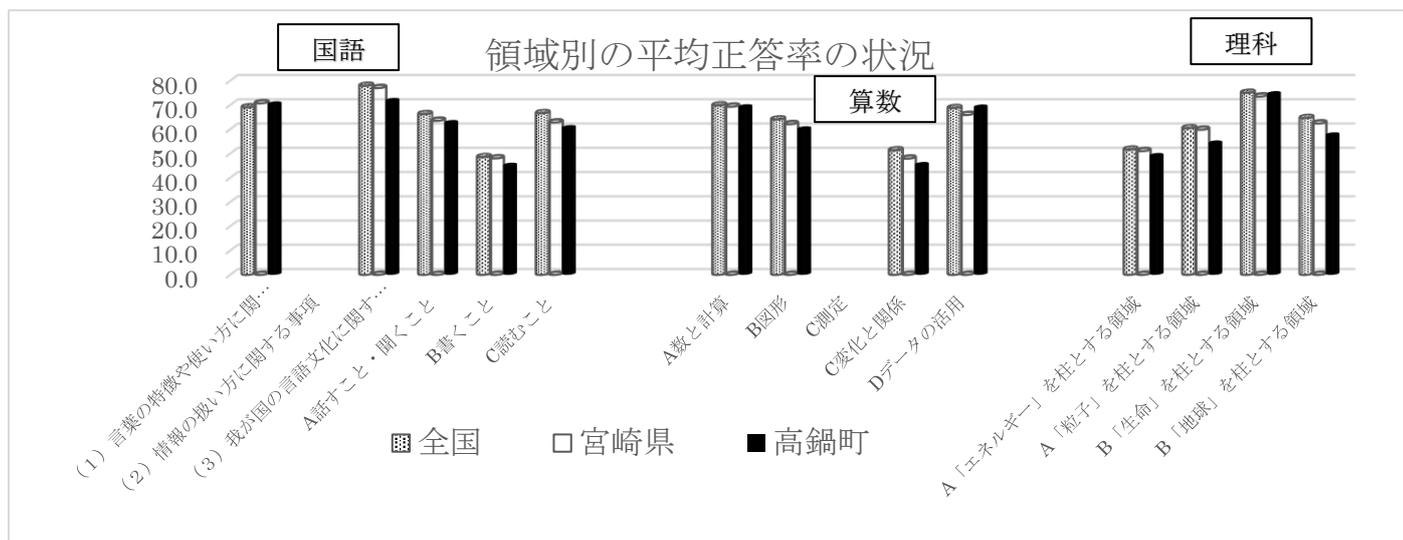
**相当高い（低い）**・・国平均との差が±7以上



■ 本町の結果概要

(1) 小学校

ア 教科に関する調査の結果



- ◎ 3教科の平均正答率は、全国平均より低い結果です。
- 国語の正答率については、全国平均とほぼ同程度です。
  - ・ 「言葉の特徴や使い方」については、全国平均とほぼ同程度で、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」については、全国平均よりやや低い結果です。また、「我が国の言語文化」及び「読むこと」については、全国平均より低い結果です。
- 算数の正答率については、全国平均よりやや低い結果です。
  - ・ 「数と計算」及び「データの活用」は、全国平均と同程度で、「図形」については、全国平均とやや低い結果となっております。また、「変化と関係」については、全国平均より低い結果となっております。
- 理科の正答率については、全国平均よりやや低い結果です。
  - ・ 「生命」については、全国平均と同程度で、「エネルギー」については、全国平均とほぼ同程度です。また、「粒子」については、全国平均より低い結果で、「地球」については、全国平均より相当低い結果となっております。

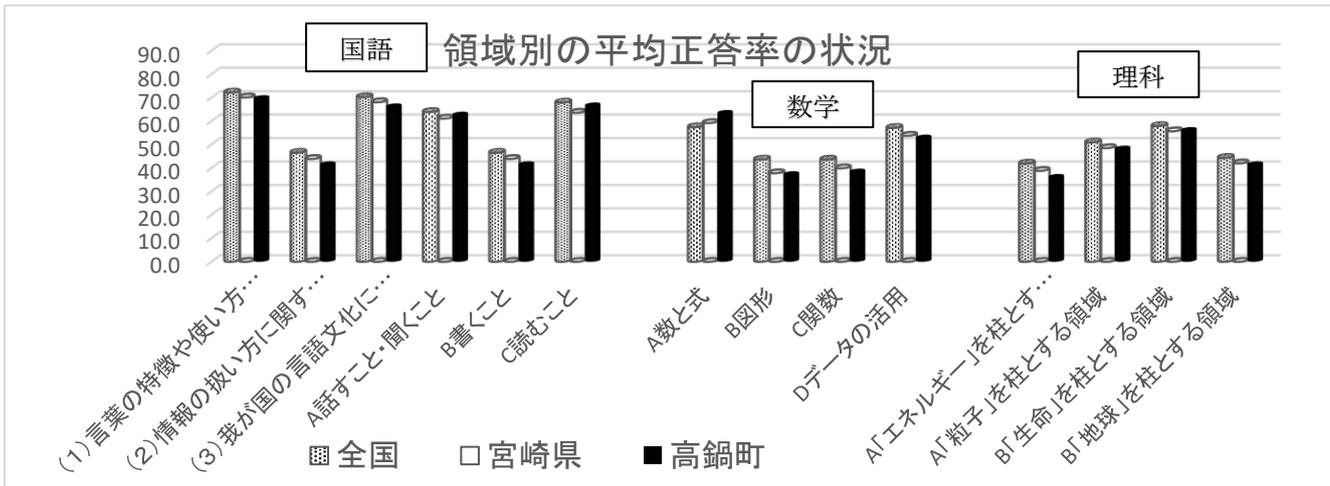
イ 児童質問紙の結果

【生活習慣に関する主な項目】

- ☆ 基本的な生活習慣に関する質問「決まった時刻に起床する」は、全国と比較して肯定的な回答をしている割合は、やや高い傾向にあり、「朝食を毎日食べる」は同程度の傾向にあります。
- ☆ 「将来の夢や目標」に対する肯定的な回答の割合は、全国とほぼ同程度の傾向にあります。
- ★ 「普段の勉強時間（1時間以上）」及び「計画を立てて勉強をしていますか」の項目は、全国と比較して相当低い傾向にあります。家庭学習の工夫改善が求められます。
- ☆ 地域行事の参加については、肯定的な回答の割合は高い傾向にありますが、地域や社会への関心度は、全国と比べてやや低い傾向にあります。
- ★ 解答時間については、3教科において全国と比較して相当低い結果で、速く正確に読み取る指導に、組織的に取り組んでいく必要があります。

(2) 中学校

ア 教科に関する調査の結果



- ◎ 3教科の平均正答率は、全国平均とほぼ同程度の結果です。
- 国語の正答率については、全国平均とほぼ同程度の結果です。
  - ・ 「言葉の特徴や使い方」、「話すこと・聞くこと」及び「読むこと」については、全国平均とほぼ同程度で、「我が国の言語文化」については、やや低い傾向にあります。また、「情報の扱い方」及び「書くこと」については、低い結果となっております。
- 数学の正答率については、全国平均とほぼ同程度の結果です。
  - ・ 「数と式」は、全国平均より高い結果です。「データの活用」については、全国平均よりやや低い結果となっております。また、「図形」及び「関数」については、低い結果となっております。
- 理科の正答率については、全国平均よりやや低い結果です。
  - ・ 「粒子」及び「生命」については、全国平均とほぼ同程度で、「地球」については、全国平均よりやや低く、「エネルギー」については、全国平均より低い結果となっております。

イ 生徒質問紙の結果

【生活習慣に関する主な項目】

- ☆ 基本的な生活習慣に関する質問「決まった時刻に起床する」は、全国と比較して肯定的な回答をしている割合は、やや高い傾向にあり、「朝食を毎日食べる」は同程度の傾向にあります。
- ★ 「将来の夢や目標」に対する肯定的な回答の割合は、全国より相当低い傾向にあります。
- ★ 「普段の勉強時間（1時間以上）」及び「計画を立てて勉強をしていますか」の項目は、全国と比較して相当低い傾向にあります。家庭学習の工夫改善が求められます。
- ☆ 「地域行事の参加」については、肯定的な回答の割合はやや高い傾向にあり、「地域や社会への関心度」は、全国と比べて相当高い傾向にあります。
- ☆ 学校でのタブレット端末等のICT活用頻度「意見を交換する場面や発表する場面」では、全国と比較して相当高い傾向にあります。学習活動にタブレット端末が浸透していることが分かります。
- ★ 「話の組み立てなど工夫して発表する」「自分の考えをまとめる活動」では、相当低い傾向にあります。協働的な学びの場面の工夫に取り組んでいく必要があります。
- ★ 解答時間については、理科において全国と比較してやや低い結果で、国語及び数学は、相当低い傾向にあります。速く正確に読み取る指導に、組織的に取り組んでいく必要があります。